

## 東アジアにおける暦ナショナリズム<sup>1</sup>

崔 吉 城

東亜大学 人間科学部 教授  
dgpyc081@yahoo.co.jp  
http://blog.goo.ne.jp/dgpyc081/

### はじめに

人は永続的に過ぎ去る自然の時間の本質を認識することは難しい。したがって水の流れのように物理的な「流れ (flow)」として自然の変化や生物の成長を見て認識するのが常である。精神的状況によって時間を長くも短くも感ずる。それを客観的に測ろうとした日時計, また水時計, 香時計, あるいは歯車が回ることによる近代的な時計もある<sup>2</sup>。その無色無臭の自然の時間をどのように認識するのか, 過ぎ去る時間の流れを現在 (now) と次 (next) の連続であるように意識するかは, 文化や個性によっても異なる。

伝統的な時間観念には, 労働時間と休息の時間の区分が曖昧である。農村では日の出と日暮れの間には労働したが, 時間区分の観念は必ずしもはっきりしていなかった。また労働と休みや遊びの時間の区分も明確ではなかった。一昔前までは, たとえば韓国ではコリアンタイム<sup>3</sup>, ベトナム語では「ゴム時間」<sup>4</sup>といわれる緩やかなものがあり, 近代国家になるに従って時間観念も近代化した。

文化人類学や民俗学では, 文化・社会的なリズム

ムとして時間を認識し, 一定の間隔 (interval) の単位で流れ, 年中行事のように回帰するか, また人の生老病死の通過儀礼<sup>5</sup>のように直線的な時間としても認識した。イギリスの文化人類学者のリーチは, 回帰的な時間と不回帰的な時間, すなわち反復 (repetition) と不反復的 (non-repetition) の二つに分類した<sup>6</sup>。昼と夜, 夏と冬, 雨季と乾期, 幼と老, 生と死, 過去と現在の二分構造で反復するという。しかしデュルケームは時間の流れには節目があるとし, 時間を聖と俗に区分した。これは日本民俗学において, 「ハレ」と「ケ」に分けたのと軌を一にする。それによると夜と昼は対極であり, 聖と俗も対極である<sup>7</sup>。伝統的には夜と昼, 満月と朔月, 満潮と干潮の二分構造であった。一年は始まりが一月の朔「元旦」から始まって12月の「大晦日」で終わる。一月の朔「初」と朔の間に「望」(8月15日満月夜)があり, 二分している。そして一日も深夜から深夜まで, その中ほどに正午がある。このような二分構造が基礎となり, これに太陽暦による四季などが加わり農事暦になっている。それには人の生活リズムも組み

<sup>1</sup> 本稿は, 2009年1月21日山口大学時間学研究所主催の国際シンポジウム「東アジアの暦と近代化」における「韓国における聖なる時間の世俗化」という題で発表したものに基づいて再作成したものである。

<sup>2</sup> 全相運, 「韓国天文学史」『韓国文化史大系』6, 高麗大学民族文化研究所, 1982: 中国からの伝来されたものだという。

<sup>3</sup> 韓国人の結婚式などは1時間遅れる(韓国のコリアンタイム)のが通例であった。

<sup>4</sup> ベトナム語で「ゴム時間」(gio day thun)という言葉があるほど時間厳守の観念がなかった。

<sup>5</sup> アルノルト・ファン・ヘネップArnold van Gennep著, 綾部恒雄・綾部裕子訳, 『通過儀礼Les rites de passage』, Emile Nourry, 1909. において, 人間のライフサイクルをファン・ヘネップが誕生から死までを段階化した。

<sup>6</sup> Edmond Leach, "Two Essays Concerning the Symbolic Representation of Time", Rethinking Anthropology (London School of Economics Monographs on Social Anthropology No 22) 1966: 124-136; ビルマ高地のカチン族の調査に基づいて伝統的な時間観念を直線的な時間としての通過儀礼と回帰的な時間としての年中行事と大別している。冠婚葬祭は最初から死後まで含めて仕組まれている。歳, 思春, 結婚, 還暦, 老化, 死という変化が直線的な時間観念を感じさせる。信仰によっては生の延長や輪廻とも考えられることもある。

<sup>7</sup> 聖の時間は俗や不浄を清める(水, 火, 塩によって)ことから始まる。聖の時間を持ち続けるためには犯すべからず, つまり犯すと祟がある。終わる時には聖なるものや不浄なものを燃やす。祖先祭では洗手で始まり, 焼き紙で終わる。クツ(巫儀[シャーマンの儀式])では注連縄を張り, 黄土を撒く。

込まれている。韓国において死者儀礼は深夜に行われ、誕生日祝いは朝に行われる。個人の一生は個人や家族、親族の誕生日と死亡日まで通過儀礼が行われた。「ハレの日」と「ケの日」と対照させ、日本人は長い間、単調で質素で労苦に満ちたケの日々の間に、労働から離れ、神に奉仕し、大きな消費を伴うハレの日を挿入することによって、1年に一定のリズムを作りあげたのである。

ファースは、ある小漁村の住民が、バスに乗ることが金になることだ、という時間を意識する現場を観察している。<sup>8</sup>近代化によって時間観念は変化した。特に鉄道の定時運行・時刻表が時間観念を大きく変えた。交通や新聞などのシステムが複雑化するには厳密な時刻の制定が必要とされ、標準時が設定、そして時計が普及した。

そして、国家は標準時や暦などで時間を管理するようになった。韓国では1896年1月1日を期に、太陰太陽暦を太陽暦に替えた。<sup>9</sup>それは断髪令などの旧習を脱皮させようとする開化思想と改革政策によるものであった。近代的国家は時間をコントロールし、ナショナリズム化していった。東アジアの国家においては、ナショナリズム化に暦を巧みに利用してきた。

## 伝統的な時間観念

韓国では伝統的に時間とは時刻、時点ではなく、「間」を意味するテェ、サイ、チャム、トムなどの言葉がある。それは時間の一定の幅や長さを意味する。時間を区切る点というよりも連続的な時の間を指す。つまり時間は一定の間隔（interval）の単位で流れると考えられていた。名節の祝祭日・年中行事、記念日なども、一日か数日になっていた。日本では「ハレ」の日も時刻や定時ではなくお盆などのように一日（間）以上である。

しかし誕生日と死亡日は生と死の両方で「時刻」が重要視される。誕生日の生年月日（四柱）はその人の運であり、それに基づいて新年の運も決まっているというのである。その一例として、新年運数をみる新年占いの基礎が陰暦による生年月日で

あることをあげることができる。

一般的に1年をサイクルとして、年ごとに年中行事が繰り返し行われる。元旦から八月十五夜の秋夕を通して大晦日に至るまで二十四節気が組み合わさって伝統的な名節の行事祝祭日となっている。伝統的社会における年中行事は当該社会の人々の世界観を反映するものである。韓国は日本が明治6（1873）年に太陽暦を採用した後、1896年にグレゴリオ暦の太陽暦に替え、1月1日を元旦とした。断髪令などとともに旧習から脱皮しようとする開化思想によるもので、長い間使用した陰暦の歴史を変える大きな改革政策であった。つまり、太陽暦を使用しながら旧正（旧暦1月1日）を廃して新正を祝おうとしたのである。しかし、年の始まりを1月1日に替えても太陰暦の1月1日のソル（正月）名節を替えることは、とりわけ旧暦で生活する民衆にとっては難しい。旧正（陰暦）は聖なる日であり、新正（陽暦）は俗なる日である。つまり世俗化現象が伴うことになる。それでも伝統的な祝祭日は近代国家のカレンダー、記念日などと組み合わせられて持続するようになった。

現在元旦は、太陽暦によって世界中に適用されている。それぞれ同じ時間の認識に基づき、同じ目的、同じ価値観そして同一の様式に従って行事を行い社会的・文化的統合機能がある。ただ中国文化圏<sup>10</sup>などはこれから外れている。

## 暦のナショナリズム

### 1) 標準時と元号

大韓帝国は1908年に東経127度30分を標準時に制定したが、日韓合併後の1912年に日本の標準時である東経135度に変えた。解放後、植民地遺産の撤廃運動やアメリカ軍の作戦上の理由で、1954年3月21日からは再び東経127度に変え、30分早い時間にもどした。しかし1961年、朴正熙大統領は不便であるという理由から、国家再建最高会議の決定によって日本の標準時間に変更し、現在に至っている。2000年になって、韓国ナショナリストの国会議員20余名が、韓国の標準時に復帰させる法

<sup>8</sup> Raymond Firth, *Malay Fishermen*, Routledge & Kegan Paul Ltd.1966: 197

<sup>9</sup> 日本は明治6（1873）年に太陽暦を採用したので、この23年後にあたる。

<sup>10</sup> 漢字文化圏、儒教文化圏といわれる中国を中心に朝鮮半島、ベトナムなどを含む。

律を上程したが、混乱と不便を招くということで、政府はこれを制定させなかった。

韓国は三国（新羅景德王）時代から李朝末期までは中国の年号を使わなければならなかったが、大韓帝国になってからは、建陽（高宗1896～1897）、光武（高宗1897～1907）隆熙（純宗1907～1910）、また植民地時代には日本の年号を使わざるをえなかった<sup>11</sup>。

大韓民国では1948年を「檀紀」4281年とし、1962年までそれを用いた。そして同年から年齢を満で表現するようになった。しかし1961（檀紀4294）年、朴正熙大統領が年号廃止の法令を制定し、1962年1月1日から使用を禁止した。それ以降檀君紀元は公式な場で使われることはない。

開天節は大韓民国の紀元節にあたり、10月3日に公休日になった<sup>12</sup>。開天節は檀君神話に基づいた韓国の建国記念日である。檀君が紀元前2333年に即位して檀君朝鮮を建国したことを記念し、天に感謝する日とされている。日韓併合後、檀君は朝鮮民族の心のよりどころとなり、上海の大韓民国臨時政府も旧暦10月3日を慶祝日としてきた。大韓民国建国後、開天節は太陽暦の10月3日に変更された上で、建国後最初に定められた4つの国慶日（祝日）の一つとなった。

北朝鮮は金日成主席の死去から3年目の1997年7月8日、党・政府の共同決定書を通じて「主体年号」を制定し、金日成主席が生誕した1912年を元年として「主体（チュチュエ）年号」を使用している。2009年は「主体」98年である。このように、君主の誕生日や死亡によって国家の年号を決めるというのは、政治的困難と近代化（開化）の激流の時代を示すものである。日本は、明治、大正、昭和、平成などの元号を使っている。

## 2) 旧正月と新正月

韓国では、太陽暦が新暦になっても、民俗や慣習をなくすことはなかなかできなかった。しかし

太陽暦を施行しても忌日、誕生日、折日（行事などの日を選び決める）はすべて陰暦（時憲暦）をそのまま踏襲した。つまり新旧暦を混用したのである<sup>13</sup>。長い歴史が刻まれている慣習は変え難いということである。

正月の過ごし方に、A旧正型、B新正型、C二重過歳型、D無過歳型の4つの型がある。Aは従来から慣習として守られているもので、旧正を守る人の立場である。これに対してBは開化思想に賛同する立場、Cは、公的には新正、私事としては旧正を守る型である。Dは煩わしさを避けるために、新正には旧正を、旧正には新正を守るかのように見せかけながら、実際にはそのいずれもしないパターンである。このうちCの二重過歳に対しては、初めのころ非合理的で経済的な損失が大きいという社会的な批判もあった。

非常時国民生活改善基準の「社会風潮」に「陰暦を廃止し太陽暦を励行すること」、また「戦時国民地生活十戒」の九に「早寝早起の規則生活」「早寝早起：神は人間に働く時間として昼を与え、休む時間として夜を与えてくれました。朝寝坊をしたり、夜遅くまで遊ぶ者は神の御意に背く人で結局不幸を招く人であります。」<sup>14</sup>とある。

韓国では大韓帝国時代以来、特に植民地朝鮮では太陽暦の利用と時間観念は啓蒙の対象であった。それは電車や列車の時刻運行、学校教育、軍事<sup>15</sup>、宗教活動などへの影響が大きかった。宇垣一成総督の農村振興運動や南次郎総督の皇民化運動には、労働時間などに時間厳守<sup>16</sup>が強調された。

旧正月とは中国式の陰暦によって新年の始まりの元旦を意味するものであり、古くは日本をはじめ中国の影響によって正月とされてきた。

韓国人にとって、世界的に祝われている1月1日の正月は、ただカレンダー上の年始であり、名節という実感が薄い。先にも触れたように日本は明治以来西洋の陽暦に変えてきた。日韓合併以前の朝鮮王朝も1896年にそれを採用し、その後日本植

<sup>11</sup> 王名と年号を暗記するのが受験勉強の主要な項目であった。

<sup>12</sup> 「三一節」「制憲節」「光復節」「ハングルの日」と並び、「国慶日」と呼ばれる五つの祝日のひとつになっている。

<sup>13</sup> 全相運、1982：649

<sup>14</sup> 由上治三郎、「愛国班の皆さん！これから此の事をしつかりやりませう」『総動員』1-2、1939：15

<sup>15</sup> 志願兵訓練所の中でも「時間を厳守すること」とある。『総動員』1-5：1939：19

<sup>16</sup> 国民生活綱要：1、早起励行 2、報恩感謝 3、大和協力 4、勤勞奉仕 5、時間厳守 6、節約貯蓄 7、心身鍛錬、『総動員』1-3、1939：19

民地政策によって引き継がれていた。しかし朝鮮民族はその政策に抵抗して新正を日本の正月「倭ソル」だといひ、旧正を「朝鮮ソル」「我が正月」といひながら守り続けた。

戦後韓国では、李承晩大統領が新正を守る政策を一貫して実施したことに対して、旧正を守ることが愛国者であるかのように主張した人もいた。朴大統領は、旧正は旧来の因習に過ぎないといひ、新正の政策をとった。そこで両方とも守るか、どちらか一つを守るか、というようになり、新正優先の「二重過歳」現象が起きた。全斗煥大統領は旧正も名節休日として旧正中心の「二重過歳」を制度化した。新暦はカレンダー、旧暦は名節などの組み合わせになっている。

新正は日本植民地政策によって始まったように誤解されているが、それは事実ではない。日本の政策が強制的であったことが抵抗を招いただけのことだと思われる。実際、正月の民俗も陰暦に密着していて、戦後も陽暦政策は変りなく引き続き、新正と旧正の「二重過歳」（旧暦と新暦の正月の両方を名節にする<sup>17)</sup>の風潮が流行った。また、前者は公休日であったが後者はそうではなかった

ので、公務員は祖先祭祀に参加できないことが多くなり、前者は「公務員のソル」といわれ、公務員が多い家や門中（親族集団）では祖先祭祀を新正に変える傾向もあった。

韓国政府は1986年の旧正を「民俗の日」とし、1988年にはソル（正月）として復帰させた。つまり民衆が守ってきた民俗を公的に認めて公休日にしたのである。百年余の新正の文化と歴史を否定して新正から旧正へ戻したことになる、大きな出来事といえよう。旧正月を「我が正月」として祝うのである。旧正月は、韓国だけではなく、広く中国文化圏、ベトナム、モンゴルなどにおいては最大の名節として祝われる。

中国では旧正月には帰省者が2億人近くにのぼり、韓国でも2千万の民族が大移動するといわれる。旧正は植民地時代においても日本人の新正に対し、韓国人が「我が朝鮮の正月」として守り続けてきたものであり、誇りとも言える。あるいは反日・反西洋的な傾向が高まったので、それを政治的に吸収したともいえる。旧正月へ戻ることについては否定的な見方もあったが、それは無視された。

月日	暦	名称	行事	理念
1月1日	太陽暦	シンジョン 新正	新年挨拶、年賀状	倭ソル
1月1日	太陰暦	グジョン 旧正、ソル	歳拝、祖先祭祀	わがソル

### 3) 年中行事とナショナリズム

韓国において年中行事とは、聖なる日の名節とは異なり、世俗的な、主に国家や社会が国家の理念や政治的意図をもって新暦で設定されたものを指す。しかし、新たに制定されるものはあるとはいえ、年中行事の多くは伝統的な名節、戦前植民地からの負の遺産、外国文化などの影響によって作られる。ここで名節を除いて独立後の大韓民国

の年中行事をみると、反植民地的ナショナリズムによるものが多い。戦後独立国家の韓国ではその枠をそのままにしながら韓国のものに入れ替えたのである。

公休日の中には4大国慶日がある。韓国憲法では第1条、国家の慶事の日を記念するために国慶日を定める。第2条、国慶日は、次のとおりである。3・1節（3月1日）、制憲節（7月17日）、光復

<sup>17)</sup> '正月は必ず陽暦一回のみとすること'朝鮮人農家においては正月旬日の長きに亘り休業する弊習あるに付之を五日以内に短縮し勤労奨励に資すること『総動員』1-7, 1939: 94

<sup>18)</sup> 紀元前2333年（戊辰年）、すなわち檀君紀元元年陰暦10月3日に、檀君が最初の民族国家の檀君朝鮮を建国したことを賛える意で制定された。檀君が白頭山神檀樹の下に降りてきて神市を開いて弘益人間の業を始めた日の陰暦10月3日を意味する。日本植民地下で上海臨時政府は開天節を祝日に定めていた。解放後、大韓民国ではこれを継承して開天節を国慶日として正式に制定した。本来陰暦10月3日であるから大韓民国樹立後までも陰暦で守ってきたが、1949年に文教部が委嘱した審議会の審議結果陽暦換算が不可能だという理由で、そのまま陽暦10月3日と決めた。

節（8月15日）、開天節（10月3日）となっている。10月3日の開天節は戦前の日本の紀元節、現在の建国記念日（2月11日）に相当するものである。開天節（建国記念日）は日本の紀元節の入れ替えのようなものである<sup>18</sup>。4つの国慶日のうち2つが日本植民地と係わるものである。3・1節は、1919年に日本に反抗し独立万歳運動を起こした日を記念している。8月15日は日本の終戦記念日であり、韓国では解放記念日の「光復節」としてあり、日本の敗戦によって韓国が解放された記念日である。

### 陽暦

名称	月日	制定時期	参考
新正	1月1日	1949年	1990年から2日間、1999年から1日休
3・1節	3月1日	1949年	国慶日
子供の日	5月5日	1975年	
顕忠日	6月6日	1956年	弔旗 掲揚
光復節	8月15日	1949年	国慶日
開天節	10月3日	1949年	国慶日
聖誕節	12月25日	1949年	クリスマス

### 陰暦

名称	月日	制定時期	参考
ソルナル	1月1日	1985年	1989年から3日間連休
釈迦誕生日	4月8日	1975年	仏教の名節
秋夕	8月15日	1949年	1986～1988年は2連休、1989年から3連休

朝鮮民主主義人民共和国で制定する公休日は18日であり、記念日の個数は13個である。大韓民国の記念日は10個なので、北朝鮮はこれより3つ多く、また公休日は、大韓民国の14日に比べて4日多いことになる。3・1節は含まれていない。

昭和天皇の誕生日は戦前の天長節にあたるが、これに照応するように、韓国では李承晩（3月26日）の、北朝鮮では金日成（4月15日）の誕生日がある。韓国では法定公休日は日曜日、国慶日、名節、釈迦誕生日、クリスマスがあり、そのほかに選挙日など臨時公休日がある。軍国主義的な国軍の日と顕忠日、キリスト教のイエス誕生記念日のクリスマス、仏教の釈迦誕生日が設定されているのが注目される。

### <略史>

1949年	4大国慶日（新正、植木日、秋夕、ハングルの日）、キリスト誕生日を公休日と制定			
1950年	国際連合の日を制定			
1956年	顕忠日を制定			
1960年	植木日を砂防の日に変更制定			
1961年	植木日に復帰			
1975年	子供の日、釈迦誕生日を制定			
1976年	国際連合の日を除外し、国軍の日を制定			
1985年	陰暦元旦を民俗の日と制定			
1986年	民俗の日の次の日も公休日に制定			
1989年	民俗の日を秋夕（チュソク）と改名、3日連休、1月3日を公休日から除外			
1990年	国軍の日とハングルの日を公休日から除外			
1998年	1月2日を公休日から除外			
2005年	植木日と制憲節を公休日から除外			
2006年	選挙日を公休日			
	公休日期間	文化	カテゴリー	カレンダー
秋夕	平日⇒1日⇒2日⇒3日	伝統文化	名節	旧暦
新正	公休日：1日←2日←3日	西洋文化	年中行事	新暦

「わが国では、すべての勤労者は社会主義労働法の規定によって平等な休息権を持っており、多様な形態の休息が保障されている。8時間労働制により「日間休息」、日曜日は「週間休息」、名節休息、年間定期休暇と補充休暇、静休養などである。国家的に制定された名節日である、偉大な首領金日成同志の誕生日、親愛なる指導者金正日同志の誕生日、国慶節、党創建記念日、祖国解放記念日、憲法節、5・1節、ソル名節（旧正月）などには休息する。」

## まとめ

伝統的には祝祭日やイデオロギー的な記念日などが休日であるが、現在、一般的にはただの連休とかゴールデンウィークとしてしか認識されておらず、公休日の意味も忘れられつつある。公休日は削減され、形骸化されて、単なる休日になっている。名節や冠婚葬祭の世俗化現象も指摘できよう。ナショナリズムなどの理念を有する年中行事も「休日」「連休」化していく。現在日本においても一般の人々は、休日、特に連休をいわゆるゴールデンウィークとしてしか認識していない。したがって暦のナショナリズムも弱まっているといえる。

日本は完全に近いほど陰暦を陽暦化した。端午（陰暦の5月5日）や七夕（陰暦の7月7日）を陽暦に換算して切り替えたのではなく、日にちだけを、つまり数字だけを陽暦に移したのである。特に8月の十五夜（満月）は、陽暦の8月15日では満月の意味はないし、お盆の7月15日も満月の意味はない。ただ、日本では、春分や秋分のように時間的周期を表すものが含まれていることが特徴となっている。一方韓国は、陰暦の元旦を正式に認めるなど、カレンダー上、中国文化圏に戻ったといえる。

日韓には相似・相異点がある。韓国では4つの国慶日と日曜日を除いた記念日を含む公休日がある。趣旨が同じものを挙げてみると、1月1日の新正（元旦）と5月5日の子供の日は一致する。

韓国	日本
新正	元旦
開天節	建国記念の日
植木日	みどりの日
子供の日	子供の日
父母の日	母の日、父の日
ハングル日	文化の日

その他は月日や名称が異なっても趣旨が同様である。一方それぞれ両国の独特なものを挙げてみると、注目すべきことに日韓において対照的なことがある。

韓国	日本
ソル（旧正）	成人の日
三・一節	春分
釈迦誕生日	秋分
顕忠日	体育の日
光復節	勤労感謝の日（新嘗祭）
秋夕	お盆
国軍の日	—
クリスマス	—

すなわち韓国では陽暦に固定されていない休日がソル（旧正）、釈迦誕生日、秋夕の3日であり、これは陰暦を使用している。それに対して日本では陰暦が全く使用されていない。韓国の多くの国民が、陰暦1月15日の大ボルム（満月）、5月5日の端午、7月7日の七夕など、陰暦によって名節を過ごし、また誕生日を陰暦に基づいて祝う人も多い。最近政府がソルと秋夕を陰暦に基づいて公休日にしたのは、こうした陰暦文化の背景からである。

朝鮮半島と日本の暦には国家のナショナリズムと関係が深いことが共通している。日本と北朝鮮は元号、天皇や主席などの誕生日や即位などに基づいて元号を使っている。韓国では年中行事に反日的なナショナリズムが強く表れている。